



平成29年4月15日

2〜4面	公民館研究集第2弾
5面	事例発表その1
6面	楽しい芸能・ふるさと登山
7面	まつかわ大学12期生募集
8面	すぽっと・短歌
8面	手作りベンチ寄贈
8面	視点・ペンペン草



# まつかわ百景 ⑨8

## 「生田側から見た宮ヶ瀬橋」

私達原田読書会は、昭和45年にスタートして、みんなの努力と連帯の輪の中で半世紀を迎えようとしています。現在11人の会員で活動し、平均年齢70歳です。これを機に今回の記録をまとめ一冊の記録集を作りました。

改めて、記録の大切さと仲間の和の尊さに気づかされた次第です。記録集を作り始めてから3年の歳月を費やし50年近い記録を、自分達でまとめあげました。

内容は原田の読書会らしさがいっぱいあふれた楽しく素朴なものです。読んでみるとジーンと来たり

思わず声を出して笑ってしまう場面も浮かんで…。

読書会発足当時から公民館主事をやっておられた松下拡先生には、学ぶ事の大切さとそれを実践する事の勇氣、仲間同志が助け合い支え合う事の意味を深く学ばせていただき、今日があるのです。又、

## 主張

### 共に歩んで半世紀

教育長をやっておられた鋤柄先生には、情緒面で詩の勉強、読書から得たもの、映画の話など、多方面に渡り教えていただく中で、私達もずいぶん成長した様に思います。養護学級を担当されていた中平先生は、学習会の都度新任の

若い先生を連れて来てくださり、みんなワクワクドギマギした中で笑いがはじけました。

障がいのある人も無い人も共に暮らせる社会をめざし、私達も共に頑張らなくてはと、思いを寄せたところです。又、「継続は力なり」という言葉を、みんなが

体験した実践記録集です。

大澤 み江



# water えみりあ

～ 第54回 公民館研究集会第2弾 事例発表その1 ～

第54回公民館研究集会にて、事例発表を行った社会教育関係団体の発表内容をご紹介します。

今回は発表された10団体の内、6団体をご紹介いたします！

## 自分の本を作る会

中 繁彦さん

自分の本を作る会は、毎年「こもれび」という本を作成しています。中身は会員の皆さんの随筆、童話、体験記、または料理のレシピなど様々です。15年ほど前に発足し、町内外15名の会員がいます。月1回各自が書いた原稿を持ち寄っています。年1回研修旅行に行き、その紀行文も本の中に納められています。今年度の「こもれび」は3月末におよそ200部作られます。ここで、東京の聖路加国際

病院の名誉院長の日野原重明先生のお言葉をちよっとお借りしたいと思います。

「人生を川の流れに例える時、その流れの中に身を置いている間は、自分はどのような姿で流れているのかよくわかりません。ですから時々流れから淀みに身を寄せて川の姿を眺めやり、今後は自分はどうのように流れているのかを考えるのです」

お一人お一人の書かれたこの作品というのは、その淀みに身を寄せて描かれたもので、その人にとって、その人であれば書けないという貴重な記録となつておると思います。

言い換えれば生きていくという証を子どもさんや、お孫さんに残す大事な記録にもなると思います。

私たちの会は決して硬い会ではありません。まず出された作品の良いところを皆で言い合ったり、ここはもうちょっとこんな風に書いたらもっとよくなるだろうなあというような指摘もあつたり、あるいはその内容に関わって自分結び付けて「あ、そういえば私もそういう経験があつて、こうだよ」とか、または逆に全く自分では経験できない世

界、山の登山なんかの関係もそうですね。そういう世界が見えてくるというような、そういう視野も広まるというような会ですが、そのうちに脱線をしてしまつて、よもやま話に花が咲くというようなこともあるわけですが、それがまた良いんですね。そういう気楽な会でありますので、どうぞご希望がありましたら軽い気持ちでご参加いただければと思います。

## 松川少年野球

### クラブ

大久保 剛さん

私達、松川少年野球クラブは町内の小学生で構成された少年野球チームです。

以前、松川町には上片桐少年野球クラブと松川少年野球クラブの2チームがありましたが、人数の減少により2年前に合併しまして現在の松川少年野球クラブとなつています。

監督、助監督を中心に6名のコーチ陣とで、子どもたち

の野球技術の向上に努めています。クラブ員は現在2年生から6年生まで14名で活動しています。

活動は主に毎週土曜日、日曜日の午前中に行われる練習と、各種の大会への出場です。また、夏休み中には泊まり込みの合宿も行っています。他チームとの技術の向上と交流も兼ねて練習試合も行っております。今年度は計7回行いました。練習場所は総合グラウンドを拠点としまして、状況によりまして町営グラウンド、中央小のグラウンドを使用させてもらっています。雨天時は福与体育館で室内トレーニングを行っています。

低学年のクラブ員には、野球の基礎技術と野球の楽しさを会得してもらえようように、レベルを合わせた練習を行っています。また、試合や練習を通して、思いやりや気配りができる、あいさつや礼儀ができる、チームワークを大事にできる、そんな子どもになつていけると思っています。

野球を通して、小学校や地域を超えて子どもたち、保護者たちの交流ができることも素晴らしいことだと思います。私も、いろんな方と交流させ



でもらえる機会が増えて非常に感謝しています。

試合や練習の帰り道、車のなかでする会話は親子で、本音で話せる貴重な時間ではないかと思えます。

練習は決して楽しいことばかりではないですが、子ども、保護者ともに野球を通して得るものは多いのではないかと思います。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、現在野球は競技人口が減少しているスポーツです。今現在、私たちも人員を増やすことに精一杯取り組んでいます。やはり個人の力では限界があります。本日ここにいらした皆様の周りにも、子どもさんがいらしたら、「野球やらない？」と声をかけていただきたいと思えます。

3月からは土曜日、日曜日の午前中、総合グラウンドで練習していますので、よろしければいつでも見に来てください。



### 松川少年少女

### ダンス教室

金井 善彦さん

松川少年少女ダンス教室はダンスを純粋に教える教室になっていきます。この教室は松川町の中で、ダンスを普及させたい、認知していただきたい、また、お子さんたちの体力・リズム感の向上を、という思いから立ち上げました。

教室は10年以上続いており、大人になってもダンスを続けていらつしやる方がいて、たまに行き会ったりしております。

当教室の活動内容としては、主に町内のお祭りやイベント等に積極的に参加させて頂いたり、その他にも近隣で行われているダンスイベント、結構大きいイベントなんです。そちらにも毎年参加させて頂いています。あと、年数回、保護者さんとお子さん一緒に親睦会等を行います。結果を図っています。

レッスンの日は、毎週木曜日 午後7時から8時半まで、こちらのえみりあの3階にて行っています。すばらしいスタジオを作って頂いたことに関しては本当に感謝のしようがありません。ありがとうございます。思いきりダンスができるというところで、子どもたちも喜んでいきますので、今後もっと上手くなつて披露させていただきたいと思えます。

見学自由ですのでお声をかけて頂けたらと思います。

### 昭和史を

### 学ぶ会

大澤 み江さん

この会を立ち上げたのがつい去年の10月ごろ。私の親しい仲間が4、5人集まってお茶や食事会をするんですが、そのなかで、仲間の一人から親しい友達の息子さんが、過労で自分から命を絶たれたという話がありました。

「労災って本当困るね。会社に認めてもらうのも大変だし、今の社会だつてもう過労死なんていっぱいあるで。」という話があったり、またひとりの人は、3・11の東北からの物資を斡旋をして売ったりしているそうです。

みんなでいろいろ話してる中で、べちゃべちゃしゃべつただけではなく勉強というほどじゃないんだけど、そういうのやりたいね。って声がありました。

昨年の暮れに、憲法につい

て勉強するか、ということになり、前に主事をされていた松下先生へお願いしました。

そこで、11月、12月にえみりあに集まった7、8人で行ったのですが、話の内容も難しく、講義を聞いても集中できず、もう少しきちんとした会を立ち上げるか、ということ

で今思案中です。活動の目標としては、昭和17、8年に生まれた私たちは、その頃の歴史とか教育について全く学んでこなかったの、そのあたりをまず学ぼうということになりました。

そして松下先生に資料を作っていたとき、読み合わせや交換会など、気楽に行いたいと思います。日程もまだ定期的には決まっています。月1回土曜日の午後などにやっていたいと思います。

そんなわけで、また産声を上げたばかりですが、今日ここで発表させていただいて、どなたか勉強したいとか、一緒にやりたいという方がいらっ



### 英会話教室

田中真喜子さん

Good afternoon. From now.

I'm going to introduce our English conversation class.

この教室は平成4年5月から始まったもので、毎週木曜日に「一般コース」と「初級コース」を交互に行っています。講師は松川中学校ALTのヴァージニア先生です。20代〜70代の幅広い層の参加者がいます。「一般コース」は挨拶や自己紹介など日常で使う英会話を、ゲームを交えながら覚えさせます。レッスン以外にもクリスマスパーティーなども企画し親交を深めています。

ALTとは、小学校とか中学校で、実際の生の英語を子どもたちに聞いてもらうために、派遣されている外国人の先生です。その先生を講師に招いて英会話教室を開催しています。先生はともフレンドリーで、私たちのつたない英語でも辛抱強く聞いてくださってわかりやすく説明をし

てくださるので、気軽に参加できる教室になっていると思います。

教室は町民であれば誰でも無料で参加できます。昨年から試験的に初級コースと一般コースという二つのコースに分かれました。各コースは月に2回ずつの教室を開催しています。

初級コースはテキストを使っておきますので、テキスト代だけ2,800円頂いています。私達は他のサークルの皆さんと違って、公民館の講座に「やりたい」という人が手を

あげて集まっている団体になっています。中には高齢になり脳の老化を防止するためにこうした英会話を学びたいというような、頭の下がるような方もいらっしやいます。

皆さんそれぞれが目的を持って参加されているこの教室ですけれども、私自身は、いつか町の国際協力とか、そういう場で有志の方を募って何かできるような団体になっていけると良いと思います。ですので、家事とか仕事に折り合いをつけて、なるべくこちらの教室に参加させていた

てください。

Thank you very much.



### 絵本の読み聞かせ

ボランティアサークル

### のんたんの会

田中ふじえさん

平成8年に私が家族と共に松川町に越してきた当時、町では子育て支援事業が乳幼児健診くらいしかなく「自分たちでやってみては？」という声掛けに、平成10年にもう一人の仲間と一緒に立ち上げて、現在、19年目に入りました。

主な対象は、未就園児とそのご家族です。月2回火曜日の10時から、中央公民館えみりあをお借りしまして、年間20回のお話の会を続けています。

内容は、絵本、紙芝居、大型絵本の他に人形劇、パネルシアター、エプロンシアターなどを行っています。この形

は1回目の例会から変わらず、来月(3月)の雛祭りスペシャルで35回目を迎えます。例会のほかに、中央小学校、北小学校の朝読書、図書館でのブックスタート、中学校や保育園、高齢者施設など、可能な限り対応しています。また、都合の付くスタッフで、月に1度の学習会、講演会にも出かけ、学びの時間も大切にしています。

スタッフの年齢も18歳から76歳まで幅広く、もちろん男性もいます。互いの良い所を認め合い、この活動を自分の生きがい、居場所づくりにしてもらえたら、この会のポリシーである《絵本でつながる人と人。絵本を軸にひろがる地域連携。我が子だけでなく、よその子どもみんなと一緒によりよい明日が《につながつていくと信じています。

平成28年度には4人のスタッフの加入がありました。年齢、性別は問いません。読み聞かせののんたんの会へ一度遊びにきてください。



楽しい芸能

# 箏と民謡 尺八のしらべ

3月10日(金)中央公民館えみりあホールにおいて「箏と民謡 尺八のしらべ」が行われました。

3月10日(金)中央公民館えみりあホールにおいて「箏と民謡 尺八のしらべ」が行われました。

今回日本の伝統楽器である箏と尺八の演奏と、昔から歌い継がれている民謡をお聞きする講座を設けたところ、130人もの方



最初に「沙羅の会」(澤田明美、中村美恵子、源田緑)さんによる夏川りみの「花」を、次に「アペマリア」や「ハレルヤ」など外国の曲を箏曲用にアレンジした「愛と祈りの調べ」を、最

後に今日来場された方々にたくさんの福が来るようにと「七福神宝船」を演



奏してくださいました。優雅で華やかな箏の演奏を聞き、心が豊かで元気になりました。次に小原椿山(捷次)さんによる尺八の演奏でした。軽妙なトークを交えながら千昌夫の「北国の春」、滝廉太郎の「荒城の月」。その後、宮城道夫の「春の海」をお聞きし、

北大震災などで亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。最後に鞍馬範龍(敬久)さんを中心にした「鞍馬社中」の皆さんによる民謡「木曾節」「箱根馬子唄」「伊那節」「小諸馬子唄」をお聞

きしました。小太鼓や鈴、三弦の演奏を交えた伸びのある素晴らしい民謡をお聞きしながら、馬を使ったり自分の足で旅をしたりしていた頃の、のどかでも大変な旅を思い、晴れやかで伸びのある唄声に心打たれました。



感じられることが一番だと思います。ですがその反面、危険が伴っています。

## ふるさと登山 山へ行くこうよ

3月11日、ふるさと登山実行委員会主催のもと、講師として信州「山の達人」中嶋豊さんを招き、山についてまた安全に登山を楽しむための講演会を行いました。

中嶋さんは、長野県警察山岳遭難救助隊員として、遭難救助・事故等の防止活動に尽力されてきました。救助隊員での経験や体験、そして、ご自身が登られた山とその魅力について語っていただきました

た。

近年では、登山がブームとなっており、山ガールなどの言葉が生まれたり、高齢者の方の登山率も増加しており、松川町の烏帽子ヶ岳や学校行事で登った小八郎なども人気の山となってきました。きこの採りや紅葉を楽しむんだり、登山をしながら合コンを行うイベントもあるようです。このように山の楽しみ方や魅力が様々あり、自然を



感じられることが一番だと思います。ですがその反面、危険が伴っています。

と中嶋さんは話されています。長野県の遭難事故は全国の20%近くだそうです。そのほとんどは転落や滑落、転倒、また、自分の実力に合わなかったり、防寒等の装備が十分でなかったりすることが背景にあるようです。いざという時のことを考えて、ヘルメットや防寒具などの備えや登山計画をしっかり建てるのが大切だそうです。

今年7月23日には、2回目の烏帽子ヶ岳のふるさと登山が行われる予定なので、興味のある方は是非、ご参加ください。



# スポーツ

## 第25回松川町混合ダブルス バドミントン大会

3月12日(日)に松川町町民  
体育館にて、第25回松川町混  
合ダブルスバドミントン大会  
が行われました。  
結果は次のとおり

### Aリーグ

優勝

杉山文康・林 暁

準優勝

小沼良太・清水菜芳

第3位

中山 仁・松下睦規

### Bリーグ

優勝

西 隼人・福島めぐみ

準優勝

小林 駿・小池朝香

第3位

細田 勲・武松京子



### 第1講座

7月1日(土) 13:00~

## 意志あれば道あり — 柔道から学んだこと —

■講 師

山口 香

筑波大学大学院体育系 准教授

“女三四郎”と呼ばれた、ソウルオリンピック  
女子柔道銅メダリスト。13才で全日本女  
子体重別選手権大会で優勝して以  
来10連覇。世界選手権でも  
数々のメダルを獲得。現在  
は、筑波大学大学院で教  
鞭を執る傍ら、後進の指  
導にあたる。

### 第2講座

9月2日(土) 19:00~

(仮題)

## 「希望の牧場・ふくしま」で生きる!!

■講 師

吉 沢 正 巳

NPO法人「希望の牧場・ふくしま」代表理事

40年前に父親が広い土地で酪農をしようと千  
葉から浪江町に移住。大学を出てから父親の酪  
農を手伝う。原発事故後は、警戒区域内に  
取り残された被ばく牛の保護・飼育。  
自身を顧みず世話を続ける農家支  
援などの活動を行っている。  
「希望の牧場」(福島県浪江  
町)の代表として原発事故  
生き証人・被ばく牛ととも  
に原発を乗り越える世の  
中を目指す。

まつかわ大学第12期生  
募集!!

◆入学金:年間1,500円

(受講登録は松川町民のみ)

◆締 切:5月31日(水)

◆問合せ:中央公民館

36-2622

### 第3講座

12月2日(土)  
13:00~

## 「免疫力をつける生活」 きれい社会の落とし穴 — アトピーからがんまで —

■講 師

藤 田 紘一郎

東京医科歯科大学名誉教授

寄生虫博士・カイチュウ博士として知られる  
医学博士。専門は寄生虫学、熱帯病学、感染免  
疫学。「現代日本社会の超清潔志向がアレルギー  
病をまねき、日本人が身体的にも精神的にも世  
界一衰弱した民族になっている」と説く。日本  
テレビ「世界一受けたい授業」に講師として出演。

### 第4講座

2月10日(土)  
13:00~

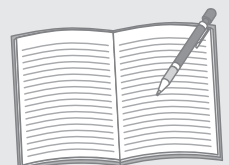
## 私の取材ノートから

■講 師

江 川 紹 子

ジャーナリスト

国際情勢や国内の社会問題、教育問題、人  
権・平等等に関して、精力的に取材・執筆。近  
年では、東日本大震災や原発事故の取材、郵便  
不正事件やPC遠隔操作事件など、刑事司法の  
様々な問題を追及。検察の  
在り方検討委員会に就任す  
るなど、多方面に活躍中。



すぽっと 歴史を訪ねて

松川町文化協会  
「郡内めぐり」

松川町文化協会の一日研修が3月13日(月)に行われました。今回は県歌「信濃の国」の中に「たずねまほしき園原や・・・」と歌われている阿智村園原や「満蒙開拓平和記念館」など、阿智村を中心に研修を深めました。

東山道の最大の難所で、多くの旅人が命を落としたそうです。

麓にある神坂神社には樹齢2千年を越すと思われる杉と、枅の巨木がありました。神坂峠や青木のことが万葉集や新古今和歌集に歌われていると聞き、遠く離れた都に住む都人に知られ親しまれた当時の神坂峠のことを思いめぐらせました。

阿智村の駒場地区では「中馬ぬくもり街道 ひな祭り」が行われていて、「ひな祭り」の旗が建てられている家に「お雛様を見せてください」と声をかければ、家に入っ  
て見せていただくことができました。昔銭湯であった建物には古い雛人形やポスターがあり、お風呂に入っている雛人形に驚くとともに、工夫してあるなあと感心しました。

「満蒙開拓記念館」では事務局長の三澤さんから満蒙開拓に関する詳しい説明をお聞きしました。

国策として進めた満州移民の実態は、そこに住む中国人を追い出して日本人が入植したことが実態であったこと、満州開拓に行った人の中で長野県が全国で一番多く、下伊那が突出していたこと、ソ連軍が侵攻してきたことにより、一部に集団自決までしなければならなかった逃避行の悲惨さについて知ることができました。そして残留孤児だった方々が書かれた文章やインタビューに答えられている内容を聞きして、戦争に巻き込まれた人々が落とさな



満蒙開拓平和記念館で説明を聞く

くてもよい命を落したり、悲惨な体験をしたりしなければならなかったことを思うにつけ、平和を守り続けることの大切さを改めて心に刻む研修会となりました。



防人(さきもり)の歌碑を見る



神坂峠や神坂神社について説明を聞く

短歌

氏神祭

細江シヅエ(堤原)

春待ちて本家別家の七家族氏神様の前に集いぬ

放蕩なりし御仁の代に傾きし本家の庭に祠まつらる

神主に無病息災被われて戦前戦後を助け合い来し

世は移り代の変るも氏神を守りて今年はわが家の当番

我が家では夫の逝きたり本家では赤子生れたりさまざまのあり

毎月第3日曜日は  
家族ふれあう  
「家庭の日」

**公民館活動**  
**「少年少女ダンス教室」**



毎週木曜日 夜7時～9時半まで  
 中央公民館えみりあ3F 学習室3で練習しています。

**卒業生が  
 手づくりベンチ  
 寄贈**

今年の3月で中央小学校を卒業された、平成28年度の6年3組のみなさんが、えみりあに手づくりのベンチを寄贈してくださいました。

ベンチは昨年の夏休みに親子レクで製作したものです。保護者の方に大工さんがいらつしやり、指導をしてもらいながらつくったそうです。6年3組（28年度）の児童は36人で、6つのグループに分かれて1台ずつベンチをつくりました。親子レクの中でベンチの形はほとんど完成させたのですが、そのあと少しずつデザインを加えていったそうです。

えみりあには2台のベンチを寄贈してください、残る4台は中央小学校内で使われています。

昨年は、中央小学校が50周年。また松川町が町制60周年という記念の年でした。そして6年生として卒業の記念になるようにと、さまざまな思いをこめて製作されました。

ベンチに座り、木のぬくもりを感じながら、えみりあから見える山並みの景色を楽しんでください。



えみりあ正面玄関の両わきに設置してあります



つくった児童一人ひとりの手形がデザインされています

**草**

長男が、夕方になると「もしもしカメよ」のリズムに合わせてけん玉の大皿と小皿の間を往復する通称「もしカメ」の練習をひたすら始める。

最初は、2、3回やっっては落ちたし、悔しがりながらも毎日練習を続けていた。

たまに練習の様子を見ていると上達していく過程がわかる。リズムに合わせて上手に膝を使ったり、一つ一つの動きに無駄が徐々になくなっていく。練習の成果を披露してくれ、歌に合わせて歌詞の2番3番まで長く続くこと得意げにこちらを見るので、「凄いね！」と褒める自分と内心では嫉妬する自分がいる。自分自身不器用で、「もしカメ」が3回以上続けてできないからだ。

どこかで苦手意識を持ってしまいい、けん玉にしても苦手な事に対してどこか敬遠してしまうことがあると思う。悩み、考えてある一定の部分を超えれると逆に苦手だったことが好きになったり、得意になることは多かれ少なかれあると思う。

春になり新年度がスタートしたばかり。フレッシュな息吹に乗って、今まで自分が苦手だと思ふ事に挑戦できる良い機会かもしれない。まずは、手始めに長男に「もしカメ」を特訓してもらおうと思う。

大東 洋文

公民館報  
**「まつかわ」**  
 第 642 号  
 平成29年4月15日

発行所 松川町公民館  
 責任者 小 沢 誠  
 編集人 公民館編集部  
 Tel 36-2622  
 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp  
 飯田市上郷黒田121  
 印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。